

「人権と福祉のまち」を推進するためのアンケート結果

問4 あなたは、毎日の暮らしの中でどのようなことで困ったり、不安に感じたりしていますか。あてはまるもの3つまで○をつけてください。また、さしつかえなければ、カッコ内に具体的な内容をご記入下さい。

※複数回答につきパーセンテージは回答者数をもとにそれぞれの項目で計算しています

1 自分の健康に関すること	775人 (66%)
2 親や子どもに関すること	305人 (26%)
3 子育てに関すること	145人 (12.3%)
4 介護に関すること	437人 (37.2%)
5 近所づきあいや近隣の間人間関係に関すること	142人 (12.1%)
6 災害に関すること	242人 (20.6%)
7 防犯に関すること	407人 (34.6%)
8 その他	121人 (10.3%)

一番多い回答は「自分の健康に関すること」であり、全体の66%にあたる775人(1352人中)の人が不安に感じていることが分かりました。次に「介護に関すること」を不安に感じている人が37.2%の437人、「防犯に関すること」が34.6%の407人、「親や子どもに関すること」が26%の305人と続いています。

問5 あなたは、毎日の暮らしの中で困ったり、不安に感じたりしたとき主に誰に相談しますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1 家族や親戚	959人 (70.9%)
2 近隣の人や知人・友人	175人 (12.9%)
3 町内会役員、民生・児童委員	10人 (0.7%)
4 役場や社会福祉協議会窓口	18人 (1.3%)
5 相談相手がない	55人 (4.1%)
6 その他	46人 (3.4%) 無回答 89人 (6.6%)

主な相談相手として「家族や親戚」をあげる人が、全体の70.9%の959人でした。次に「近隣の人や知人・友人」をあげる人が12.9%の175人と、まずは身内の人や知り合いの人を相談相手としていることが分かりました。また「相談相手がない」人も4.1%の55人います。